

平成20年12月期 第3四半期財務・業績の概況(非連結)

平成20年10月30日

上場会社名 日本精蠟株式会社 上場取引所 東証二部
 コード番号 5010 URL <http://www.seiro.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 泰邦
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 細田 八朗 TEL (03)3523-3530

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年12月期第3四半期の業績(平成20年1月1日～平成20年9月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年12月期第3四半期	39,061	27.4	2,216	△14.1	2,041	△14.4	△180	-
19年12月期第3四半期	30,666	6.1	2,578	34.9	2,385	41.3	1,414	71.9
19年12月期	42,749	11.7	3,136	14.3	2,934	22.7	1,683	37.5

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年12月期第3四半期	△8	05	-	-
19年12月期第3四半期	63	16	-	-
19年12月期	75	18	-	-

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭
20年12月期第3四半期	36,294		9,475		26.1	423	20
19年12月期第3四半期	30,340		9,636		31.8	430	34
19年12月期	28,316		9,900		35.0	422	15

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年12月期第3四半期	△2,592	△538	5,701	2,628
19年12月期第3四半期	995	△602	627	2,779
19年12月期	1,233	△907	△2,026	57

2. 配当の状況

	1株当たり配当金
(基準日)	第3四半期末
	円 銭
19年12月期第3四半期	—
20年12月期第3四半期	—

3. 平成20年12月期の業績予想(平成20年1月1日～平成20年12月31日)

平成20年12月期の通期の業績予想につきましては、現時点では変更ございません。

4. その他

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期(平成20年1月～9月)は、米国発のサブプライム問題に端を発した金融不安が深刻さを増す中、世界経済の景気減速が次第に鮮明になってきました。国内においては、世界的な景気減速を受け、輸出・設備投資・個人消費が鈍化し、企業収益は厳しさを増してきました。当社の収益に大きな影響を及ぼす原油相場は年初から一貫して上昇し7月に147ドル/バレルの史上最高値を記録後、一転下落に転じ9月に90ドル/バレルまで急落し、その後は100ドル/バレルを挟んで乱高下を繰り返しながら推移してきました。

このような状況の中で、当社は原料油価格高騰に対応するために6月から取り組んできたワックス製品の再値上げの貫徹をはじめとする収益確保に注力するとともに、下期からスタートした新中期経営計画の本年度の業績目標および具体的経営課題の取り組みを推進してきました。

その結果、主製品のワックス販売は前年同期に比較して販売数量では主として海外市場で原油価格急落に伴う先安観や景気の先行き懸念による買い控えの影響により、5,330トン減の64,524トンとなったものの、販売高では製品値上げの浸透効果により1,443百万円増の13,288百万円の実績となりました。

また、重油販売は前年同期と比較して販売数量では減産の影響により32,586キロリットル減の328,378キロリットル、販売高では販売単価が原油価格下落に連動もなお高水準に推移したため6,976百万円増の25,748百万円の実績となりました。

これにより、当第3四半期の実績は前年同期に比較して売上高ではその他商品を含めて8,395百万円増の39,061百万円となったものの、収益面では営業利益で362百万円減の2,216百万円、経常利益で343百万円減の2,041百万円となり、第3四半期純利益では過年度法人税等の追加負担(1,448百万円)により1,594百万円減の180百万円の純損失となりました。なお、更正通知への対応については、当局に異議申立て後、現在交渉継続中であります。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期における総資産は、36,294百万円、負債合計は26,818百万円、純資産は9,475百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況は下記のとおりであります。

当第3四半期における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比較して2,570百万円増加し、当第3四半期末残高は2,628百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、2,592百万円となりました。これは主として、税引前第3四半期純利益2,031百万円、減価償却費534百万円、売上債権の減少額428百万円、仕入債務の増加額2,721百万円、たな卸資産の増加額6,015百万円、法人税等の支払額2,804百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、538百万円となりました。これは、有形固定資産の取得458百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、5,701百万円となりました。これは主として、短期借入金の純増額5,235百万円、長期借入金の純増額664百万円、配当金の支払198百万円等によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、金融危機の実体経済への波及を背景に更なる景気後退懸念が強まる中、不安定な原油・為替相場の動向等と相俟って引続き先行き不透明・不安定な状況が続くものと想定されます。このような状況の中で、今後の原料油価格の動向等を注視しながら採算販売の徹底とコスト削減に注力するとともに、引続き新中期経営計画の推進に注力してゆく所存であります。

通期の業績予想につきましては、現時点では前回公表(平成 20 年 7 月 30 日)の通期業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準に簡便的な方法を採用しております。
その他影響額の僅少なものについても一部簡便な方法を採用しております。

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期財務諸表
 (1) (要約) 四半期貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年12月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年12月期 第3四半期末)	増 減		(参 考) 前期末 (平成19年12月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	2,779	2,628	△ 151	△ 5.4	57
2. 受取手形	368	144	△ 223	△ 60.8	349
3. 売掛金	5,802	5,768	△ 33	△ 0.6	5,992
4. たな卸資産	6,134	12,771	6,637	108.2	6,756
5. その他	568	286	△ 282	△ 49.7	571
6. 貸倒引当金	△ 4	△ 5	△ 1	36.6	△ 5
流動資産合計	15,649	21,594	5,945	38.0	13,722
II 固定資産					
1. 有形固定資産	14,031	14,094	63	0.5	13,993
2. 無形固定資産	13	14	0	7.0	12
3. 投資その他の資産	646	590	△ 55	△ 8.6	587
固定資産合計	14,691	14,700	8	0.1	14,593
資産合計	30,340	36,294	5,953	19.6	28,316
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形	622	737	115	18.6	503
2. 買掛金	2,098	4,759	2,660	126.8	2,272
3. 短期借入金	8,682	10,804	2,122	24.5	5,569
4. 一年内返済長期借入金	1,767	1,303	△ 464	△ 26.3	1,606
5. 未払法人税等	479	191	△ 288	△ 60.1	763
6. 賞与引当金	110	129	19	17.5	42
7. 修繕引当金	114	100	△ 14	△ 12.6	200
8. その他	1,039	1,374	335	32.3	1,021
流動負債合計	14,914	19,400	4,485	30.1	11,977
II 固定負債					
1. 長期借入金	2,199	3,786	1,586	72.2	2,818
2. 再評価に係る 繰延税金負債	3,490	3,490	-	-	3,490
3. 退職給付引当金	48	141	93	192.8	104
4. その他	51	-	△ 51	-	24
固定負債合計	5,789	7,417	1,628	28.1	6,437
負債合計	20,704	26,818	6,114	29.5	18,415

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年12月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年12月期 第3四半期末)	増 減		(参 考) 前期末 (平成19年12月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	1,120	1,120	-	-	1,120
2. 資本剰余金	14	14	-	-	14
3. 利益剰余金	3,336	3,223	△ 112	△ 3.4	3,605
4. 自己株式	△ 3	△ 3	△ 0	5.0	△ 3
株主資本合計	4,467	4,354	△ 112	△ 2.5	4,736
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価 差額金	38	△ 8	△ 47	-	33
2. 土地再評価差額金	5,130	5,130	-	-	5,130
評価・換算差額等合計	5,168	5,121	△ 47	△ 0.9	5,163
純資産合計	9,636	9,475	△ 160	△ 1.7	9,900
負債純資産合計	30,340	36,294	5,953	19.6	28,316

(2) (要約) 四半期損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年12月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年12月期 第3四半期)	増 減		(参 考) 前期 (平成19年12月期)
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	30,666	39,061	8,395	27.4	42,749
II 売上原価	26,136	34,764	8,628	33.0	36,846
売上総利益	4,529	4,296	△ 232	△ 5.1	5,902
III 販売費及び一般管理費	1,950	2,080	129	6.7	2,765
営業利益	2,578	2,216	△ 362	△ 14.1	3,136
IV 営業外収益	91	102	11	12.4	154
V 営業外費用	284	277	△ 7	△ 2.6	356
経常利益	2,385	2,041	△ 343	△ 14.4	2,934
VI 特別利益	7	4	△ 3	△ 49.5	7
VII 特別損失	7	14	7	102.6	60
税引前四半期(当期) 純利益	2,386	2,031	△ 355	△ 14.9	2,881
税金費用	972	763	△ 208	△ 21.5	1,198
過年度法人税等	-	1,448	1,448	-	-
四半期(当期)純利益 又は純損失	1,414	△ 180	△ 1,594	△ 112.7	1,683

(3) (要約) 四半期株主資本等変動計算書

前年同四半期(自 平成 19 年 1 月 1 日 至 平成 19 年 9 月 30 日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年12月31日残高(百万円)	1,120	14	2,112	△ 2	3,243
当四半期中の変動額					
剰余金の配当			△ 190		△ 190
四半期純利益			1,414		1,414
自己株式の取得				△ 0	△ 0
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)					
当四半期中の変動額合計(百万円)			1,223	△ 0	1,223
平成19年9月30日残高(百万円)	1,120	14	3,336	△ 3	4,467

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算差額等 合計	
平成18年12月31日残高(百万円)	81	5,130	5,211	8,455
当四半期中の変動額				
剰余金の配当				△ 190
四半期純利益				1,414
自己株式の取得				△ 0
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)	△ 42	-	△ 42	△ 42
当四半期中の変動額合計(百万円)	△ 42	-	△ 42	1,180
平成19年9月30日残高(百万円)	38	5,130	5,168	9,636

当四半期(自 平成 20 年 1 月 1 日 至 平成 20 年 9 月 30 日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年12月31日残高(百万円)	1,120	14	3,605	△ 3	4,736
当四半期中の変動額					
剰余金の配当			△ 201		△ 201
四半期純利益			△ 180		△ 180
自己株式の取得				△ 0	△ 0
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)					
当四半期中の変動額合計(百万円)			△ 381	△ 0	△ 381
平成20年 9 月30日残高(百万円)	1,120	14	3,223	△ 3	4,354

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算差額等 合計	
平成19年12月31日残高(百万円)	33	5,130	5,163	9,900
当四半期中の変動額				
剰余金の配当				△ 201
四半期純利益				△ 180
自己株式の取得				△ 0
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)	△ 42	-	△ 42	△ 42
当四半期中の変動額合計(百万円)	△ 42	-	△ 42	△ 424
平成20年 9 月30日残高(百万円)	△ 8	5,130	5,121	9,475

前期(自 平成 19 年 1 月 1 日 至 平成 19 年 12 月 31 日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年12月31日残高(百万円)	1,120	14	2,112	△ 2	3,243
当事業年度中の変動額					
剰余金の配当			△ 190		△ 190
当期純利益			1,683		1,683
自己株式の取得				△ 0	△ 0
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)					
事業年度中の変動額合計(百万円)			1,493	△ 0	1,492
平成19年12月31日残高(百万円)	1,120	14	3,605	△ 3	4,736

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算差額等 合計	
平成18年12月31日残高(百万円)	81	5,130	5,211	8,455
当事業年度中の変動額				
剰余金の配当				△ 190
当期純利益				1,683
自己株式の取得				△ 0
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)	△ 47	-	△ 47	△ 47
事業年度中の変動額合計(百万円)	△ 47	-	△ 47	1,445
平成19年12月31日残高(百万円)	33	5,130	5,163	9,900

(4) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区分	前年同四半期	当四半期	(参 考) 前期
	(平成19年12月期第3四半期)	(平成20年12月期第3四半期)	(平成19年12月期)
	金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期(当期)純利益	2,386	2,031	2,881
減価償却費	403	534	545
修繕引当金の増減額	△ 60	△ 100	25
売上債権の増減額	△ 1,887	428	△ 2,058
たな卸資産の増減額	281	△ 6,015	△ 340
仕入債務の増加額	1,311	2,721	1,366
利息の支払額	△ 224	△ 243	△ 319
法人税等の支払	△ 1,351	△ 2,804	△ 1,339
その他	137	855	472
営業活動によるキャッシュ・フロー	995	△ 2,592	1,233
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形・無形固定資産の 取得による支出	△ 664	△ 458	△ 969
その他	62	△ 80	62
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 602	△ 538	△ 907
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額	2,584	5,235	△ 528
長期借入金等の純増減額	△ 1,767	664	△ 1,310
その他	△ 188	△ 198	△ 187
財務活動によるキャッシュ・フロー	627	5,701	△ 2,026
IV 現金及び現金同等物の増加額	1,021	2,570	△ 1,700
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,758	57	1,758
VI 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	2,779	2,628	57